

文化に関する県民アンケート調査 <要点整理>

平成 22 年 8 月実施 調査対象 1,200 回収数 571 回収率 47.6%

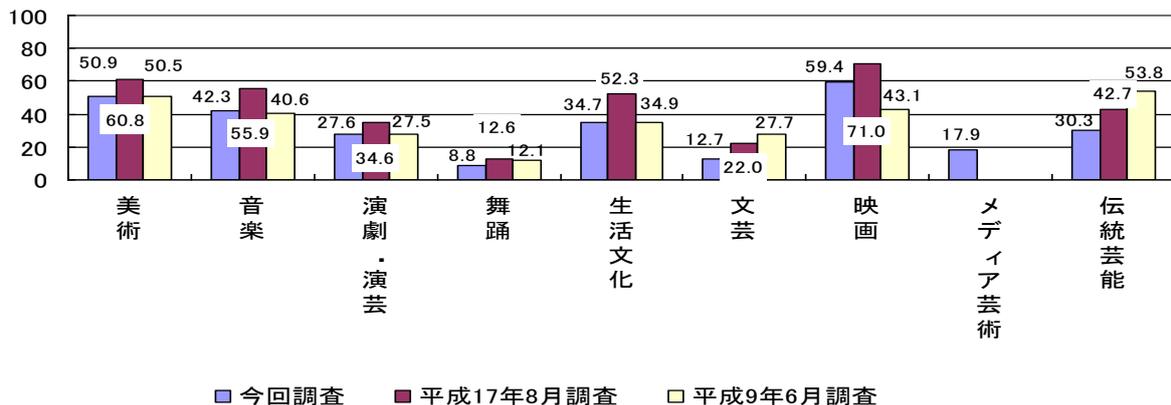
1 アンケート結果の特徴 (前回調査、全国調査との比較)

前回：H17.7 調査、全国：文化に関する世論調査H21. 11 調査 (内閣府)、

○ 文化鑑賞及び創作活動の状況

- <1年間で文化に関する催しに出かけた人> 89.8% (前回 89.9%) ※全国 62.8%
- <1年間で家庭において文化を鑑賞した人> 95.3% (前回 94.7%) ※全国 86.5%
- <1年間で演じたり、作ったり、文化活動をした人> 24.7% (前回 39.3%)

文化に関する催しに出かけた状況



- \* 富山県は全国調査に比べて文化鑑賞が活発。
- \* 前回調査と比較すると、「出かけたことがある」と回答した人の割合が全ての分野で低下。(「メディア芸術 (アニメーション含む)」は、前回、該当項目なし)

○ 文化の鑑賞について

- <鑑賞したいものがある> 96.6% (前回 95.9%)
- <子どもたちに鑑賞させたいものがある> 92.8% (前回 96.5%)

○ 文化に関する情報の入手先

- <新聞や雑誌など> 60.4%
  - <テレビ、ラジオ> 58.4%
- } <テレビ、ラジオ、新聞や雑誌など> (前回 78.1%)

- \* 今回より、「テレビ、ラジオ」、「新聞や雑誌など」の二つに回答項目を分けたが、「新聞や雑誌など」を情報の入手先としている人の割合のほうが高い。

## 2 基本施策に関するアンケート結果状況

### ○ 小中高生等への県立美術館・博物館無料化の周知度

<知っている（全体）>	23.3%
<知っている（男性）>	18.2%
<知っている（女性）>	27.4%

\* 全体として、県立美術館等の小中高生等無料化の周知度は低い。性別に見ると、男性よりも女性のほうが周知度が高い。

### ○ 文化施設が地域の文化活動の拠点となるために力をいれること

<u>&lt;催し物のPRをもっと充実する&gt;</u>	30.5%（前回 30.7%）
<u>&lt;優れた展覧会や公演などの鑑賞機会を充実する&gt;</u>	29.8%（前回 36.0%）
<展覧会や公演を企画運営するために必要な専門知識や熱意を持つスタッフを養成する>	28.8%（前回 25.7%）

### ○ ボランティア活動について

<現在、ボランティア活動をしていない>	93.8%（前回 88.0%）
---------------------	-----------------

\* 依然としてボランティア活動をしている人が少ない。

### ○ 地域の民俗芸能の保存継承に関し力を入れること

<u>&lt;子どもたちが民俗芸能を演じることができるよう学校教育で取り組む&gt;</u>	36.8%（前回 34.4%）
<指導者を養成・派遣する>	23.4%（前回 24.9%）
<練習や後継者養成の場となる施設を、充実する>	21.5%（前回 24.6%）

### ○ 子どもたちが文化に親しむために力を入れること

<u>&lt;文化を鑑賞したり参加したりする機会を学校教育の場において充実する&gt;</u>	61.2%（前回 60.0%）
<子どもたち自身が参加したり、体験できる文化事業などを行う>	55.2%（前回 59.0%）
<子どもたちを対象にした文化事業などの鑑賞機会を充実する>	32.6%（前回 41.5%）

### ○ 全国的または国際的に誇れる「文化」等について

<u>&lt;世界遺産「五箇山の合掌造り集落」などの歴史的な町並みや集落、建造物&gt;</u>	70.9%（前回 70.6%）
<国宝瑞龍寺や勝興寺、瑞泉寺などの寺社>	57.6%（前回 54.9%）
<世界文化遺産を目指す「立山・黒部」における砂防施設群及び発電施設群や、立山信仰に係る文化遺産>	57.0%

○ 文化が息づくまちづくりに関し力を入れること

＜地域の歴史、文化、自然を活かした伝統芸能や祭りの継承、発展を図る＞

44.0% (前回 52.1%)

＜歴史的な建物、街並み、遺跡などを活かしたまちづくり、地域づくりを行う＞

39.6% (前回 47.6%)

＜文化を活用した観光振興と連携したまちづくりを進める＞

37.9% (前回 33.3%)

＜まちづくりに文化を活かそうという熱意のある住民や団体の自主的な活動を支援する＞

32.5% (前回 44.0%)

\* 「観光振興と連携したまちづくり」に関する項目の割合が増加

○ 文化の振興を通じて「元気とやま」を創造するために、重点をおく施策

＜子どもたちが文化に親しむ機会の拡充を図る＞

48.1% (前回 58.8%)

＜県民が文化を鑑賞する機会の拡充を図る＞

32.3% (前回 43.4%)

＜伝統芸能や文化財の保存・継承・活用を図る＞

30.3% (前回 31.0%)

＜文化を活かして中心市街地のにぎわいの創出を図る＞

26.0% (前回 20.2%)

\* 「中心市街地のにぎわい創出」に関する項目の割合が増加

### 3 富山県ふるさと文学館（仮称）に関するアンケート結果（今回調査より）

○ 富山県ふるさと文学館（仮称）で取り組みれば良いと思う活動

＜ふるさと文学ゆかりの地を訪ねる散策ツアー＞

45.5%

＜学校教育における体験授業の場の提供＞

43.0%

＜富山県の風土が描かれた映画の上映会＞

37.4%

＜絵本や童話、民話の読み聞かせセミナー＞

33.7%

○ 「越中万葉」という言葉を耳にしたことがあるか

＜ある＞ 80.9%

＜ない＞ 19.1%

\* 多くの県民が「越中万葉」という言葉を耳にしたことがある。

○ 富山県ふるさと文学館における「越中万葉」の必要性

＜取り上げるべき＞

32.4%

＜どちらかといえば取り上げるべき＞

31.2%

（小計）63.7%

＜取り上げなくてよい＞

2.7%

＜どちらかと言えば取り上げない方がよい＞

0.8%

（小計）3.5%

＜どちらでもよい＞

20.0%

\* 越中万葉を取り上げるべきとの意見が多い